

信州大学医学部附属病院 産婦人科に
 通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
 当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年11月6日

「本邦における若年子宮体がんの妊孕性温存治療について調査研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4207
研究課題名	本邦における若年子宮体がんの妊孕性温存治療について調査研究
所属(診療科等)	産婦人科
研究責任者(職名)	小原久典(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2019年3月31日
研究の意義、目的	実地臨床における若年子宮体がんの妊孕性温存療法の実態について調査し、温存治療適応の拡大の可能性を探ると同時に安易な温存治療がなされていないかどうかを検証し、治療の質の担保と安全な普及についての提言を提唱することを本研究の目的とする。
対象となる患者さん	2009年1月～2013年12月31日の期間に当院で子宮体がんについて医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	使用薬剤とその投与量、投与期間、病変消失の有無、再発後の治療内容や治療成績、その後の妊娠、卵巣がんの発生率など
他機関への試料・情報の提供方法	調査項目についてエクセル入力形式で行い、日産婦学会腫瘍委員会小委員会の調査研究で使用されるウェブフォームを利用します。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、解析します。
共同研究機関名	日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会 本邦における妊孕性温存治療に関する小委員会 委員長 研究代表者: 久留米大学医学部産科婦人科 牛嶋 公生 研究事務局: 久留米大学医学部産科婦人科 津田 尚武 東海大学医学部産科婦人科 三上 幹男(診療情報の提供、解析への助言) 新潟大学医学部産婦人科 榎本 隆之(診療情報の提供、解析への助言) 千葉大学医学部産婦人科 生水 真紀男(診療情報の提供、解析への助言) 慶應義塾大学医学部産婦人科 三橋 厚志(診療情報の提供、解析への助言)

	全国の日産婦学会婦人科腫瘍登録施設(信州大学を含む)(診療情報の提供)
研究代表者	主任施設の名称:久留米大学医学部産科婦人科 研究責任者:牛嶋 公生
問い合わせ先	氏名(所属・職名):小原 久典 電話:0263-37-2719

診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である久留米大学医学部産科婦人科に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。